

# せんだい寸景

NO5 2004年11月

発行：じっかい電脳事務局

## セピア色の風景

高校総体

昭和32年の県高校総体は盛り上がった。なにせ前年、悲願の初優勝を遂げたあとだ。6月1日宮城野陸上競技場で開かれた開会式の模様を中心に47年むかしの“あなた”を再録する。

旗をふる東野政道と武田義郎



校庭で行われた選手壮行会であいさつする宇野量介校長。最前列左に三浦干城、石黒の顔がある



「選手入場」のアナンスに前年優勝の一高選手団が入場。校旗掲げるのは伏谷昇山岳部主将、高橋公体育部長がつづく。うしろには総合優勝旗を持つ斉藤睦男（柔道部）の姿がみえる。



選手宣誓する石黒行彦（野球部）画面奥右よりのバックスタンドに「一」と黒地白抜きしたのが一高応援団席

戦いは終わった、「連覇」成らず。閉会式のあと校長室に押しかけた応援団の面々。饅頭を振舞われた（6月3日）



歌え、叫べ！一高応援団



宇野量介校長を囲んで 小野寺齋（前列左から2人目）が笑っている 東野は後列左から4人目。武田義郎が後列（右から3）とは珍しいこと 故人となった名だけあげておく